

叙勲受章おめでとうございます

長年の功績が認められ、春の叙勲を受章した3氏をご紹介します。

細川昭夫氏 旭日双光章(地方自治功労)



細川昭夫氏は昭和62年5月に住民の衆望を得て町議会議員に当選後、平成27年4月まで7期28年にわたり住民福祉の向上と地域産業の振興に尽力され、平成11年5月からの8年間は、副議長として常に全町的な視野に立って物事を判断し、緩急度合いを考慮した提言、意見をもって施策の策定推進を促すなど、積極的な議員活動を展開しました。

また、北見地区消防組合置戸消防団に昭和40年9月から平成27年8月まで50年間、常に旺盛なる情熱と責任感をもって住民の生命並びに財産を火災から守るため献身的な努力され、平成11年9月から置戸分団分団長、平成23年からは置戸消防団副団長として優れた指導力を発揮しました。

置戸町新光在住 73歳

桑山隆氏 瑞宝双光章(消防功労)



桑山隆氏は昭和46年1月に北見地区消防組合置戸消防団に入団後、44年間にわたり温厚誠実にして責任感強く、知徳兼備の人格者として深い信頼と尊敬を集め、消防団員の教養と消防技術の練磨を重点に、消防関係の各種教養研修に積極的に参加を呼び掛け、自らも指導することにより、優秀な消防人を育成するために尽力し、その手腕は高く評価されています。

また、無水利地域の消火活動に有効な小型動力ポンプ付水槽車の各分団への導入に積極的に働きかけ、女性消防団員の誕生にも心を注いだ熱意と実行力は消防関係者はもとより地域住民も認めるところです。そして、平成15年9月から置戸消防団団長として平成27年8月まで優れた指導力を発揮しました。

置戸町中央在住 73歳

藤田昂平氏 瑞宝単光章(統計調査功労)



藤田昂平氏は国勢調査員として昭和45年から平成27年まで10回にわたり従事し、不在世帯に何度も足を運ぶなど、労苦を惜しまず報告期限の励行に努めました。事業所・企業統計調査員は昭和56年から平成18年まで7回にわたり従事し、調査対象事業所への説明・指導を十分にを行い、より精度の高い調査結果の確保に努めました。工業統計調査員は昭和57

年から平成26年まで32回にわたり従事し、調査では明瞭な説明と誠意ある対応を行い、精度の高い調査活動を行いました。その他の統計調査を含めると76回にもなり、調査に対しての内容や方法を十分に熟知し、その丁寧かつ誠意ある説明と適切な指導は他の調査員の模範となっていました。

置戸町栄第一在住 86歳